

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公表番号】特表 2017-522351 (P2017-522351A)

【公表日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2017-030

【出願番号】特願 2017-505248 (P2017-505248)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/44

A 6 1 K 8/55

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 Q 5/08

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 15 日 (2019.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも以下の成分：

a．トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタンと、

b．少なくとも 1 種のアミノ酸と、

c．

c 1．アルコキシル化脂肪アルコールのリン酸のモノエステルであって、前記アルコキシル化脂肪アルコールは 1 ～ 50 モルのアルキレンオキシドでアルコキシル化された  $C_{12} - C_{22}$  脂肪アルコールから構成され、アルキレンオキシドのモル数は脂肪アルコールのモルに対してである、アルコキシル化脂肪アルコールのリン酸のモノエステル；

c 2．非アルコキシル化脂肪アルコールのリン酸のジエステルであって、前記非アルコキシル化脂肪アルコールは  $C_{12} - C_{22}$  脂肪アルコールから構成される、非アルコキシル化脂肪アルコールのリン酸のジエステル；および

c 3．c 1 と c 2 の混合物

から選択される少なくとも 1 種の有機リン酸エステル化合物と、

d．水と、

e．初期中間体である少なくとも 1 種の染料と、

を含み、但し、アンモニア、アンモニアの塩またはペルオキシモノカーボネート源を含まない、化粧品組成物。

【請求項 2】

前記組成物 は 少なくとも 1 種の直接染料 をさらに含む、 請求項 1 に記載の化粧品組成物

。

**【請求項 3】**

前記アミノ酸は、アルギニン、グリシン、リシン、アラニン、グルタミン、ヒスチジンおよびセリンからなる群から選択される、請求項 1 または 2 に記載の化粧品組成物。

**【請求項 4】**

前記少なくとも 1 種の有機リン酸エステル化合物は、ジセチルホスフェート、セテス - 10 ホスフェート、オレス - 5 ホスフェートおよびジオレイルホスフェートからなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 5】**

前記組成物は、前記組成物の全重量に基づいて、1 ~ 10 wt % のトリス（ヒドロキシメチル）アミノメタンを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 6】**

前記組成物は、前記組成物の全重量に基づいて、合計で 1.0 ~ 30 wt % の 1 種または複数のアミノ酸を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 7】**

前記組成物は、前記組成物の全重量に基づいて、合計で 0.1 ~ 6 wt % の 1 種または複数の有機リン酸エステル化合物を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 8】**

前記組成物は、前記組成物の全重量に基づいて、合計で 0.1 ~ 8 wt % の 1 種または複数の染料を含む、請求項 2 ~ 7 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 9】**

前記組成物は少なくとも 1 種の非イオン性界面活性剤をさらに含み、前記少なくとも 1 種の非イオン性界面活性剤は、前記組成物の全重量に基づいて、好ましくは 1 ~ 8 wt % の量で存在する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 10】**

前記少なくとも 1 種の初期中間体は、1,4-ジアミノ-2-メトキシメチル-ベンゼンである、請求項 2 ~ 9 のいずれか一項に記載の化粧品組成物。

**【請求項 11】**

分散物を製造する方法であって、前記分散物は請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧品組成物を含み、前記方法は、少なくとも以下の工程：

i . 水を提供する工程と、

ii . 少なくとも 1 種の有機リン酸エステル化合物を提供する工程と、

iii . 工程 i から ii において提供された化合物を混合し、さらに、pH が 8 ~ 12、好ましくは 10 ~ 11 の範囲に到達するまで無機塩基を添加する工程と、

iv . トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタンを提供する工程と、

v . 工程 iv から得た混合物に熱を加えて 85 の温度にし、この温度を少なくとも 10 分間維持する工程と、

vi . 前記混合物を 50 に冷却する工程と、

vii . 混合物 I に水溶液 II を加える工程であって、水性混合物 II は少なくとも 1 種のアミノ酸、任意に染料およびさらなる成分を含み、混合物 II の pH は、規定量の無機塩基によって、8 ~ 12、好ましくは 10 ~ 11 の範囲に調整される、工程と、

viii . 工程 vii において得られた混合物 III を 40 に冷却し、均質化し、続いて室温に冷却する工程と

を含み、これにより前記分散物が得られる、方法。

**【請求項 12】**

個々にパッケージ化された形態で、少なくとも 2 つのキット成分：

I 請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧品組成物または請求項 11 に記載の方法によって得られる分散物と、

II 酸化剤を含む現像剤組成物と  
を含む、ケラチン繊維を着色するためのキット。

**【請求項 13】**

前記酸化剤は過酸化水素水溶液を含む、請求項 12 に記載のキット。

**【請求項 14】**

請求項 12 または 13 に記載のキット成分を混合することによって得られる、使用準備済みの組成物。

**【請求項 15】**

成分 I と成分 II の比が 1 : 1 から 1 : 3 の範囲であり、各々の数は重量部に基づく、請求項 14 に記載の使用準備済みの組成物。

**【請求項 16】**

ケラチン繊維を着色するための方法であって、

I . ケラチン繊維を提供する工程と、

II . 工程 I のケラチン繊維を、請求項 14 または 15 のいずれか一項に記載の使用準備済みの組成物と接触させ、前記使用準備済みの組成物を、一定の期間、ケラチン繊維に残存させたままにする工程と、

III . 任意に、前記ケラチン繊維をリンスする工程と、

IV . 任意に、前記ケラチン繊維を乾燥させる工程とを含む、方法。